

平成 26 年度一般社団法人日本家政学会中部支部第 3 回役員会議事録

日 時：平成 27 年 2 月 21 日（土） 17：00～18：50（院生・学生研究発表会終了後）

場 所：金城学院大学 N1 棟 609 演習室

出 席：東珠実、石原健吾、和泉秀彦、岸本満、阪中専二、佐藤真美、長島万弓、
原田妙子、日比野久美子、平林由果、丸山智美

欠 席：金田桜子、可部野和子、木澤光子、中澤弥子、長野宏子、西田淑男、乗本秀樹、
福岡恩、夫馬佳代子、（室 雅子）

記 録：長島万弓

（敬称略 五十音順）

議事次第：

I. 報告事項

東支部長より、本日の公開講演会、研究発表会の無事終了が告げられ、運営にあたられた先生方への謝辞が述べられた。

また初めに第 2 回役員会議事録(資料 1)の確認をした。これまで役員連絡会議事録の確認をしていたが、役員会において役員連絡会と同じ内容を審議するため、今後、役員連絡会の議事録確認はしないことが確認された。

1. 平成 26 年度若手の会主催公開講演会について

・若手の会の日比野代表代理から本日の参加者数は、会員 35 名、非会員 29 名（うち学生 26 名）の合計 64 名であったこと、また一般の方からの問い合わせがあったが、来場されたかどうかはわからないことが報告された。

※本件について、役員会終了後、公開講演会の参加者数を「参加者名簿」の記載にしたがい、会員 35 名、非会員 34 名の総計 69 名に訂正いたしました（東）。

2. 平成 26 年度家政学関連院生・学生研究発表会について

・平林副支部長より、本日開催された院生・学生発表会は、会員 35 名、非会員 31 名（うち学生 31 名）の合計 66 名の参加者があったと報告された。また今回は発表が 16 題（都合により 1 題取りやめとなったため実際は 15 題）と多くの応募があったことが報告された。

・東支部長より要旨集を 150 部作成すると余るので、次回からは部数を 100 部にすることが提案され、次年度開催校で検討してもらうよう要請があった。

3. 理事会報告（資料 2）

・東支部長より資料に基づき、①入会者（中部支部に一人）および会員区分の変更者について、②第 67 回大会（東北・北海道支部）について、③日本家政学会規定集について、④学会賞、奨励賞、功労賞について、⑤平成 27 年度 1 期活動助成について、⑥学会誌の編集に関しての変更（編集委員が増員されること、A 委員：編集委員会に出席する人と B 委員：編集委員会には出席しないが査読や編集に携わる人に分けられる等）について、⑦ホームページについて、⑧学会員の減少について報告された。⑤については本役員会の協議事項 2 と

して検討する。

4. 平成 27 年度中部支部大会（於 椋山女学園大学）について（資料 3）

- ・東支部長より以下、進捗状況が報告された。
 - ・富田明美先生を実行委員長として、平成 27 年 9 月 5 日（土）椋山女学園大学星が丘キャンパスで行う。
 - ・大会スケジュールは昨年に準じる。
 - ・一般公開講演会の講演者として ①「子どもの健康と食事」（仮）椋山女学園大学看護学部教授 中島正夫 氏（非学会員）と ②「アーミッシュのライフスタイルから現代社会を考える」（仮） 岐阜大学教育学部教授 大藪千穂 氏（学会員）を計画している。
 - ・検討事項として、交流会の昼食をどのように実施するかが挙げられた。第 2 回役員会でも検討課題となっていたが、お弁当にすると申し込んでいて受け取りに来ない場合に損失が出るという問題点があった。しかし立食は時間的に余裕がなく忙しいこともあり、結論として交流会の昼食はお弁当にし、申し込んだ人は取り消しできない旨を明記することにした。

5. 平成 28 年度全国大会（於 金城学院大学）について

- ・平林副支部長より以下、進捗状況が報告された。
 - ・中森千佳子先生を実行委員長として、平成 28 年 5 月 27 日（金）～29（日）に金城学院大学 W9 号館（および新館）で行う。
 - ・2015 年の東北大会の進捗状況が東先生から平林先生に渡されることになった。

6. 平成 26 年度事業報告について（資料 4）

- ・資料に基づいて東支部長より説明された。

項目 3 の研究活動については、本日の家政学関連院生・学生研究発表会の詳細を記入することが、項目 4 の若手の会についてもミーティング、勉強会、本日の公開講演会の詳細を記入することが確認された。また項目 5 の研究助成の（3）中部支部院生・学生発表奨励賞については、本役員会の協議事項 3 として検討後、その結果を追加することが確認された。

7. 平成 26 年度会計報告について（資料 5・資料 6）

- ・原田会計幹事より資料に基づいて、本日の公開講演会及び研究発表会関連の収支決算を追加した後、3 月最終週に監査結果をいただき、3 月 31 日付で本部に提出されることが報告された。支部会員には 9 月の総会で報告される。監査は長野先生と岸本先生であることが確認された。

8. 中部支部会員メーリングリストについて

- ・石原幹事より、中部支部会員 298 名中 179 名分（実際には 28 通不明のため 151 名分）のメールアドレスが把握できていることが報告された。今後、メーリングリストを活用して連絡をすることになるが、未確認のメールアドレスについてもさらに石原先生（次年度からは室先生）のところに収集して、ある程度集まれば業者に依頼してメーリングリストに追加していくことが確認された。

II. 協議事項

1. 役員ならびに役員幹事の交代について

- ・石原健吾先生について

所属移動に伴う支部の変更があるため、次年度より室雅子先生（椋山女学園大学）に役員ならびに役員幹事（HP および名簿管理）の仕事を引き継いでいただく。

- ・丸山智美先生について

次年度より本務校の都合で役員幹事としての役割遂行が困難となるため、支部役員はそのまま続けていただくが、役員幹事（会計）を和泉先生に引き継いでいただく。

- ・和泉秀彦先生について

丸山先生に代わり原田先生から会計の内容を引き継いでいただく。これまでの役員幹事（庶務としての発送関連）の仕事は、院生・学生研究発表会関連は開催校に、選挙関連は事務局（支部長）にお願いすることになった。

以上のことが確認されたうえで、役員会として承認した。

2. 平成 27 年度第 1 期活動助成金について（資料 7）

- ・資料に基づき、東支部長から 9 月 5 日(土)の一般公開講演会の講演 2 題について申請される旨が説明され、役員会として承認した。

3. 中部支部賞（院生・学生研究発表会奨励賞）について

- ・原田先生を選考委員長とする 4 名の選考委員で審査した結果、1～10 題(食関連)から 1 件、11～16 題（衣関連）から 1 件、計 2 件が選定された。

<食関連 10> 新規多糖類溶液が水分吸収速度に及ぼす影響について
椋山女学園大学 近藤早希さん

<衣関連 11> 女性の若年時と高齢時の適合服装色の差異
名古屋学芸大学 伊東優里さん

- ・支部奨励賞授賞内規に従い、上記 2 件（2 名）に対して院生・学生研究発表会奨励賞を授与することについて審議し、承認された。なお、東支部長より授賞者本人に対して書面で通知することが確認された。

4. 平成 27 年度事業計画について（資料 8）

東支部長より以下のことが説明され、役員会として承認した。

- ・平成 27 年度総会および第 60 回大会は、平成 27 年 9 月 5 日(土)に椋山女学園大学で行われることが確認された。
- ・平成 27 年度の家政学関連院生・学生研究発表会は平成 28 年 2 月 20 日（土）に愛知学泉大学岡崎校舎で行われることが確認された。
- ・若手の会の活動は、協議事項 6 として検討する。
- ・研究助成、役員会、役員連絡会については例年通りとする。

5. 平成 27 年度予算案について（資料 9）

・原田会計幹事から現状の予算計上についてと、前期繰越収支差額がまだ入っていないので今回の資料では赤字予算になっているが今年度の収支決算後にこの額が決まるため、問題はないことが説明された。役員会としてこれを承認した。

6. 平成 27 年度若手の会の活動について

・若手の会の活動メンバーが少なく、存続が難しいという意見が出され、来年度からどうするかについて協議した。さまざまな意見が出されたが、少しずつ活動メンバーを増やして存続させる方針を決めた。

具体的には以下のような案が出された。

- ・規約を作る。
- ・改めて入会する形式ではなく、40 歳以下は若手の会のメンバーであるとする。
- ・若手の会としての会費は無いことを伝える。
- ・勉強会などすべてのイベントに対して若手の会だけでなく支部会員全体に勧める。
(メーリングリストの活用)
- ・公開講演会を現在の活動メンバーで主催するのは難しいので、どのような内容の講演を希望するかを若手の会から提案してもらい、実際の講演会開催は支部会が行ってはどうか
→ 総会にかけて、決定したら全体に報告する。
- ・院生・学生研究発表会での発表者のなかで、特に大学院に進む学生には活動メンバーになってもらいたい。

以上